

小型気象レーダーの活用法と課題

近年、我が国では集中豪雨の発生頻度の高まりが危惧されており、統計的にも集中豪雨の発生件数は明らかな増加傾向を示しています。

その一方で気象観測用のレーダーは従来のC帯の電波を用いたレーダーに比べ、局所的な集中豪雨を事前に察知するために、X帯の電波を用いた気象観測用レーダーが開発されています。

本講演では「小型気象レーダーの活用法と課題」と題しまして「X帯無線航行レーダー帯域における気象レーダーの利用に関する調査検討」の取り組みや気象レーダーを利用した防災、減災及び課題等についてご紹介します。また、実際のX帯気象レーダーの機器展示及びX帯気象レーダーの実験風景の公開も行います。

講演Ⅰ 『調査検討の概要等について』(仮題)

講師：古野電気株式会社 システムソリューション部
ソリューション開発課 主任 廣瀬孝睦氏

講演Ⅱ 『気象レーダーを利用した防災、減災について』(仮題)

講師：広島大学大学院 工学研究院 社会環境空間部門
副研究院長 教授 河原能久氏 (調査検討会座長)

機器展示『小型気象レーダー実機』等

提供(予定)：日本無線株式会社、古野電気株式会社

日時 平成27年11月27日(金) 14:00～17:00 (開場13:00)

プログラム

- 14:00～14:05 主催者挨拶 5分
- 14:05～14:35 講演(Ⅰ) 30分
- 14:35～14:45 休憩 10分
- 14:45～15:45 講演(Ⅱ) 60分
- 15:45～15:50 閉会挨拶 5分
- 15:50～17:00 実証試験公開

会場 広島大学 東広島キャンパス 広島大学中央図書館「ライブラリーホール」
(東広島市鏡山一丁目2番2号 TEL: 082-424-6214 (代表))

定員130名 参加無料

※定員になり次第締め切らせていただきます

主催 総務省中国総合通信局、中国情報通信懇談会
後援 中国地方非常通信協議会